

# 1 概 要

平成30年度  
全国統一防火標語

「忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認」

# 1 概 要

- (1) 位置と地勢
- (2) 組合消防のあゆみ
- (3) 組合の組織
  - ア 組合特別職
  - イ 監査機関
  - ウ 組合議会
- (4) 歴代消防長
- (5) 組合構成市町人口等調

平成15年7月20日 水俣芦北豪雨災害地



水俣市深川新屋敷地区



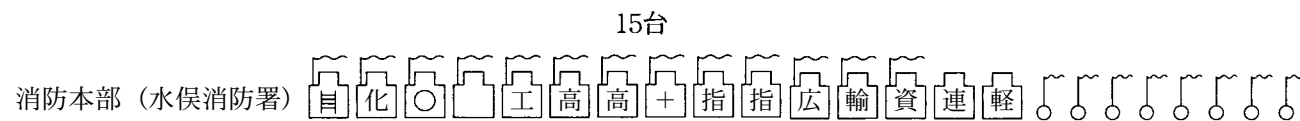
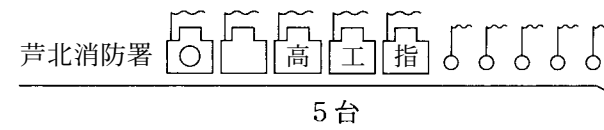
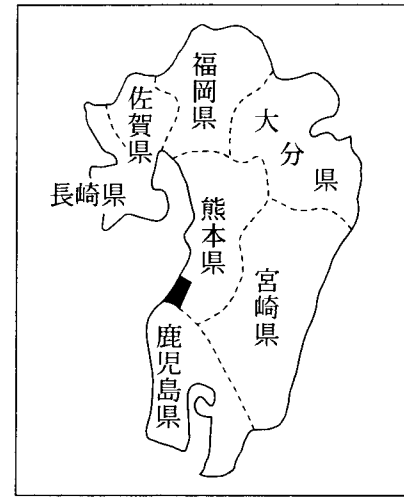
水俣市宝川内集地区

# (1) 位置と地勢

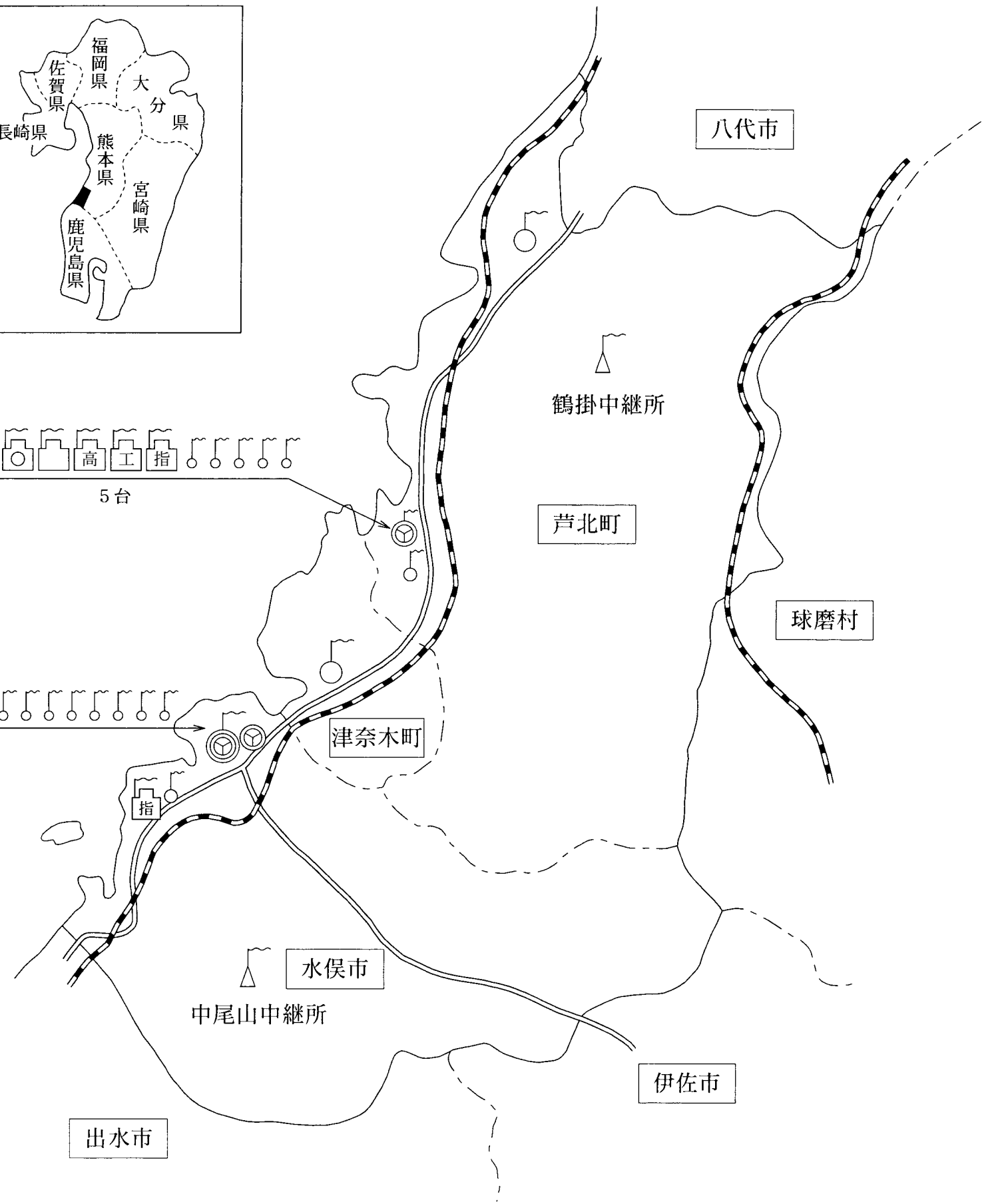
当組合は、熊本県の最南端に位置し、東西22km、南北30km、総面積431km<sup>2</sup>で、東は球磨郡、西は不知火海、南は鹿児島県及び北は八代市に接している。

地勢はその8割が重畳する山地で占められ、球磨川、水俣川、佐敷川、湯浦川、津奈木川及び田浦川並びにその支流が十数本におよびその流域に平地が小規模ながら点在している。

消防本部（水俣消防署）は、水俣市の北東部に位置し、芦北町に芦北消防署を配置し、消防防災の任にあっている。



凡		消防本部		普通消防車
		消防署		救助工作車
	---	市町村界		高規格救急車
	—	管内界		救急予備車
例		無線中継所		指令車
		携帯無線機		広報車
		無線機		連絡車
		屈折はしご付消防車		人員輸送車
		化学消防車		資機材搬送車
		水そう付消防車		軽ワゴン



## (2) 組合消防のあゆみ

年	月	日	治	革
S 24.	5			消防課常備部設置（水槽付消防車1台、書記3名、消防手9名）
S 26.	4			消防車1台（ニッサン）購入、消防課に配置
S 27.	6			消防手8名増員
	10			水俣市消防本部設置、消防長就任 市川末雄 常備消防手の身分を消防士に切替え
S 29.	2			庶務、消防、予防の係を置く
S 33.	5			鹿児島県出水市と消防応援協定締結
S 34.	1			可搬動力消防ポンプ（トーハツ）購入、親子ポンプとする。
	9			消防署設置（職員29名）消防本部、署兼務とする。
S 35.	6			芦北郡津奈木村と消防相互応援協定締結
	10			水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）購入、署に配置
S 36.	3			鹿児島県大口市と消防相互応援協定締結
S 37.	6			消防長事務取扱就任 水俣市助役 渡辺勝一
	5			日本損害保険協会より消防ポンプ車1台寄贈、署に配置
	7			職員19名増員、総員48名の陣容となる。
S 38.	7			新庁舎落成（水俣市天神町）
S 39.	10			消防車1台（トヨタ）購入、署に配置
S 40.	2			消防長就任 小島伊之吉
S 41.	5			本部に機械係を新設、庶務、消防、予防、機械係の4係とする。
S 42.	12			救急車（トヨタ）購入、署に配置
S 43.	4			救急業務開始
S 44.	12			水槽付消防ポンプ自動車（トヨタ）購入、署に配置
S 45.	10			消防長就任 岩崎良一
S 46.	3			消防無線業務開始（基地局1、移動局2）
	4			津奈木町と救急業務応援協定締結、県内消防相互応援協定締結
	11			消防本部内に防災無線（アマ無線）設置
S 47.	12			広報車（ジープ型）購入、署に配置
S 48.	4			条例、規則、規程の改正、整備を図る。
	11			県共済農業協同組合連合会より救急車（プリンスグロリア230型式）寄贈、署配置
	12			消防無線移動局2台、指令車、救急車に配置
S 49.	4			芦北、田浦、津奈木町の各町と救急業務応援協定締結
	10			消防職員8名補充採用（退職2、出向5、予防係充当1）44名となる。
	"			消防無線移動局1号車に配置
	12			江口砂利、山口砂利、若松建設、センコー各社とクレーン車派遣に関する協定締結
S 50.	7			消防専用超短波無線電話機（携帯用）3台購入、本部に設置
S 52.	1	28		地方自治法第284条第1項の規定に基づき、水俣芦北消防組合は熊本県指令地第147号により設立許可される。
	4	1		消防長（初代）就任 岩崎良一

年	月	日	沿	革
S 52.	4	1	水俣芦北消防組合発足（消防本部1、消防署1、分署1、消防職員〔水俣市消防本部からの引継職員44人、新規採用職員14人〕計58人）	
		〃	田浦町、芦北町及び津奈木町役場内に出張所員各1人配置	
		5	新規採用職員13人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月5日まで）	
	7	13	芦北分署庁舎新築工事着工、（芦北町大字芦北2754番地）	
	8	1	「水俣芦北消防連絡協議会」発足（関係市町職員及び消防団＝水俣芦北消防組合）	
	10	30	芦北分署新庁舎落成、芦北出張所を廃止	
	11	2	芦北分署庁舎開庁式、業務開始、一斉指令装置設置	
		29	広報車購入、芦北分署へ配置	
	12	27	消防ポンプ自動車購入、芦北分署へ配置	
S 53.	1	30	消防訓練塔、芦北分署に建設	
	3	27	救急自動車、日本自動車工業会から寄贈、芦北分署へ配置（更新）	
		31	管内消防無線設備完備	
	6	15	職員1人退職、計57人となる。	
	10	19	広報車、日本消防協会から配車、水俣消防署へ配置	
S 54.	2	13	救急自動車、日本消防協会から寄贈、水俣消防署へ配置	
	3	8	職員1人退職、計56人となる。	
		9	消防長就任 小崎 厚	
		31	一斉通報指令装置、水俣消防署へ設置	
		〃	職員1人退職、計55人となる。	
	5	24	指令兼広報車2台購入、田浦及び津奈木出張所へ配置	
	10	1	職員3人採用、計58人となる。	
	11	21	水槽付消防ポンプ自動車購入、水俣消防署へ配置	
		28	消防無線機5機購入、合計基地固定局2基、中継局2基、移動局30基となる。	
	12	10	職員1人退職（希望）、計57人となる。	
		11	消防長職務代理者就任 山口 栄	
		20	消防長就任 福田 堅、計58人となる。	
S 55.	3	6	消防本部（署）庁舎新築工事着工（水俣市陳内523番地の3）	
		7	職員定数条例改正議決。職員定数65人となる。	
	4	1	職員2人採用、計60人となる。	
		10	採用職員4人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月9日まで）	
	11	20	消防本部（署）新庁舎落成	
	12	1	職員1人退職（希望）、計59人となる。	
S 56.	1	31	自動気象観測装置購入、水俣消防署へ設置	
S 57.	1	11	はしご付消防ポンプ自動車購入、水俣消防署へ配置	
	9	21	職員1人退職（希望）、計58人となる。	
		22	消防長職務代理者就任 梅下 優	
		25	補助訓練塔水俣消防署に建設	
	7	1	職員6人採用、計64人となる。	

年	月	日	沿	革	
S 57.	10	9	消防長就任 山田真逸、計 6 5 人となる。		
		11	化学消防車購入、水俣消防へ配置		
		12	職員 1 人退職（希望）、計 6 4 人となる。		
S 58.	1	1	職員 1 人採用、計 6 5 人となる。		
		4	救助ボート購入、水俣消防署へ配置		
		6	採用職員 6 人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月5日まで）		
		9	消防無線機 1 機購入、水俣市役所へ配置		
		10	職員 1 人、消防大学校上級幹部科へ入校（11月25日まで）		
		11	防火広報車、日本防火協会から寄贈、水俣消防署へ配置		
		12	8	職員 1 人退職（死亡）、計 6 4 人となる。	
			31	職員 1 人退職（希望）、計 6 3 人となる。	
	S 59.	3	6	職員 1 人退職（死亡）、計 6 2 人となる。	
			6	職員 1 人、消防大学校上級幹部科へ入校（7月5日まで）	
			10	職員 1 人退職（希望）、計 6 1 人となる。	
			16	消防長職務代理者就任 梅下 優	
S 60.	12	18	消防長就任 梅下 優		
	5	28	指令兼広報車購入、田浦出張所へ配置（更新）		
	6	4	職員 1 人、消防大学校上級幹部科へ入校（7月5日まで）		
S 61.	12	25	職員 1 人退職（希望）、計 6 0 人となる。		
		26	消防長職務代理者就任 久木田實喜		
	3	22	新管理者岡田稔久氏就任		
		28	救急自動車、熊本県共済農業協同組合連合会から寄贈、芦北分署へ配置（旧救急自動車、水俣消防署へ移管）		
		6	16	救急自動車（旧 2 号車）を簡易工作車に用途変更、水俣消防署へ配置	
		8	20	指令兼広報車、（財）日本消防協会から寄贈、津奈木出張所へ配置（更新）	
S 62.	10	1	消防長就任 久木田實喜		
	1	20	職員 1 人退職（死亡）、計 5 9 人となる。		
		2	水槽付消防ポンプ自動車購入、水俣消防署へ配置（更新）		
		4	1	職員 6 人採用、計 6 5 人となる。	
			8	採用職員 6 人、熊本県消防学校初任科へ入校（9月30日まで）	
			29	元消防司令、中村孝氏、勳六等瑞宝章受章	
		5	8	水俣芦北消防組合発足 10 周年記念式典挙行	
		6	25	職員 1 人、消防大学校上級幹部科へ入校（7月23日まで）	
			29	広報車購入、水俣消防署へ配置（更新）	
		11	3	元消防監、梅下優氏、勳六等単光旭日章受章	
S 63.	12	23	職員 1 人退職（希望）、計 6 4 人となる。		
	1	1	職員 1 人採用、計 6 5 人となる。		
		3	デジタル電話装置、消防本部（署）へ配置		
		4	1	職員 1 人、熊本県消防学校へ派遣（9月30日まで）	
			11	採用職員 1 人、熊本消防学校初任科へ入校（10月13日まで）	
		5	20	職員 1 人、消防大学校上級幹部科へ入校（6月17日まで）	
		10	1	職員 1 人、熊本県消防学校へ派遣（平成元年3月31日まで）	

年	月	日	沿	革
S 63.	12	14	広報車購入、芦北分署へ配置（更新）	
H元.	1	8	元号が「平成」に改められる。	
		30	救急自動車、消防科学総合センター「救急基金」から寄贈、水俣消防署へ配置（更新）	
	4	1	職員1人、熊本県消防学校へ派遣（9月30日まで）	
	10	1	職員1人、熊本県消防学校へ派遣（平成2年3月31日まで）	
		30	職員1人、消防大学校警防科へ入校（12月22日まで）	
H 2.	2	1	消防ポンプ自動車購入、水俣消防署へ配置（更新）	
	3	1	救急自動車、社団法人日本自動車工業会から寄贈、水俣消防署へ配置（更新）	
		31	職員1人退職（定年）、計64人となる。	
	4	1	芦北分署が芦北消防署となる。	
		〃	職員1人採用、計65人となる。	
		5	採用職員1人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月5日まで）	
	9	12	救助工作車（I型）及び同資機材、（財）日本損害保険協会から寄贈、水俣消防署へ配置	
	11	8	人員輸送車（マイクロバス）、生活協同組合水光社から寄贈、水俣消防署へ配置	
H 3.	1	18	職員1人、消防大学校救急科へ入校（3月20日まで）	
	3	31	職員1人退職（定年）、計64人となる。	
	4	1	職員1人採用、計65人となる。	
		4	採用職員1人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月4日まで）	
	5	1	田浦出張所、津奈木出張所廃止	
	9	4	職員1人、消防大学校火災調査講習会受講入校（9月13日まで）	
		10	職員1人、消防大学校予防科へ入校（11月21日まで）	
H 4.	1	6	連絡車購入、水俣消防署へ配置（指令車〈ジープ〉更新）	
	3	30	順次指令装置購入、水俣消防署へ配置（一斉指令装置更新）	
	4	7	職員1人、消防大学校本科へ入校（9月11日まで）	
	6	1	給与計算事務委託（(株) RKKコンピューターサービス）	
		30	職員1人退職（勸奨）、計64人となる。	
	7	13	はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール	
	10	1	職員1人採用、計65人となる。	
		〃	職員1人、熊本県消防学校へ派遣（平成5年9月30日まで）	
H 5.	4	6	職員1人、消防大学校救助科へ入校（6月4日まで）	
	6	15	救急自動車、熊本県共済農業協同組合連合会から寄贈、芦北消防署へ配置（更新）	
	12	24	消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、芦北消防署へ配置（更新）	
H 6.	2	22	新管理者吉井正澄氏就任	
	3	14	職員1人退職（死亡）、計64人となる。	
		31	職員1人退職（定年）、計63人となる。	
	4	1	消防長就任 小形熊義	
		〃	職員2人採用、計65人となる。	
		4	採用職員2人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月7日まで）	

年	月	日	沿	革
H 6.	10	13	救助用資機材購入、芦北消防署へ配備	
H 7.	3	31	職員1人退職（定年）、計64人となる。	
	4	1	消防長就任 前田賢治	
		〃	職員1人採用、計65人となる。	
		4	採用職員1人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月4日まで）	
			職員1人、救急救命九州研修所へ入校（10月2日まで）	
	9	1	熊本県総合防災訓練（水俣市）	
		19	職員1人、消防大学校上級幹部科へ入校（10月17日まで）	
		30	水俣芦北消防組合解散	
	10	1	地方自治法第284条第1項の規定に基づき、水俣芦北広域行政事務組合が、熊本県指令地第17号により設立許可される。 組合の初代代表理事に、水俣市長吉井正澄氏が就任。	
		4	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成8年3月25日まで）	
	12	8	水槽付消防ポンプ自動車購入、水俣消防署へ配置（更新）	
H 8.	3	30	職員2人退職（定年）、計63人となる。	
	4	1	職員2人採用、計65人となる。	
		3	採用職員2人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月4日まで）	
		8	職員1人、消防大学校救助科へ入校（10月22日まで）	
	10	1	職員1人、熊本県消防学校へ派遣（平成9年3月31日まで）	
		14	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成9年3月10日まで）	
	12	25	消防本部機械室改築工事竣工	
H 9.	2	14	資材搬送車（軽トラック）購入、水俣消防署へ配置	
	3	10	非常電源装置設置（消防本部）	
		12	駐車場舗装工事竣工（芦北消防署）	
	4	7	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（9月30日まで）	
	7	7	広報車購入、芦北消防署配置（更新）	
		30	職員1人、消防大学校火災調査講習会受講入校（8月9日まで）	
	8	29	消防庁長官から防災功労者表彰受彰	
	10	26	職員1人、消防大学校警防科へ入校（12月21日まで）	
H10.	1	9	職員1人退職（死亡）、計64人となる。	
	3	1	高規格救急自動車購入、水俣消防署へ配置	
		25	消防署訓練塔改修工事	
		30	消防本部旗購入	
		31	職員3人退職（定年）、計61人となる。	
	4	1	消防長就任 高田久壽	
		〃	職員4人採用、計65人となる。	
		2	採用職員4人、熊本県消防学校初任科へ入校（10月2日まで）	
		6	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（9月18日まで）	
	8	4	防火広報車購入、水俣消防署へ配置（更新）	
	9	1	内閣総理大臣から防災功労者表彰受彰	
	10	7	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成11年3月25日まで）	
H11.	3	12	化学消防車購入、水俣消防署へ配置（更新）	



年	月	日	沿 革	
H11.	4	7	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（9月30日まで）	
		6	29	職員1人、消防大学校予防科へ入校（9月19日まで）
		10	12	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成12年3月25日まで）
H12.	2	25	救急自動車、熊本県共済農業協同組合連合会から寄贈、水俣消防署へ配置（更新）	
		3	31	職員1人退職（定年）、計64人となる。
		4	1	職員1人採用、計65人となる。
		4	4	採用職員1人、熊本県消防学校へ入校（10月13日まで）
		10	10	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（9月23日まで）
		12	12	職員1人退職（希望）、計64人となる。
		30	30	職員1人退職（希望）、計63人となる。
		8	28	広報車購入、水俣消防署へ配置（更新）
		9	3	第23回熊本県消防ポンプ操法大会 ポンプ車の部で田浦町消防団優勝
		10	4	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成13年3月27日まで）
H13.	2	22	高規格救急自動車購入、芦北消防署へ配置	
		3	26	芦北消防署車庫等新築工事、消防無線塔建設工事竣工
		31	31	職員3人退職（定年2、希望1）、計60人となる。
		4	1	消防長就任 古川廣光
		"	"	職員4人採用、計64人となる。
		"	"	職員1人事務局へ出向、計63人となる。
		3	3	採用職員4人、熊本県消防学校へ入校（10月12日まで）
		9	12	救急救命用資機材購入、水俣消防署に配備
		10	9	職員2人、救急救命九州研修所へ入校（平成14年3月26日まで）
		12	19	救助資機材購入、水俣消防署へ配備
H14.	2	27	新代表理事に水俣市長江口隆一氏就任	
		3	31	職員1人退職（定年）、計62人となる。
		4	1	消防長就任、瀧上重徳
		"	"	職員3人採用、計65人となる。
		3	3	採用職員3人、熊本県消防学校へ入校（10月10日まで）
		8	8	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（9月30日まで）
		8	25	第24回熊本県消防ポンプ操法大会 ポンプ車の部で田浦町消防団優勝2連覇
		10	8	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成15年3月24日まで）
H15.	3	24	田浦町消防団、全国消防操法大会（横浜市で開催）のポンプ車の部に出場	
		31	職員2人退職（定年1人、勸奨1人）、計63人となる。	
		4	1	消防長就任 坂本常人
		4	1	職員1人採用、計64人となる。
		3	3	採用職員1人、熊本県消防学校へ入校（10月9日まで）
7	20	水俣芦北地区豪雨災害 死者19人（水俣市宝川内15人、水俣市深川新屋敷4人） 重軽傷者7人 住家被害 全壊20棟、半壊5棟、床上浸水149棟、床下浸水354棟		

年	月	日	沿	革	
H15.	7	20		水道施設、道路、河川、教育施設等に被害が発生し、被害総額153億円	
		26		水俣芦北地区豪雨災害による最後の行方不明者発見、捜索活動終了	
				救助及び捜索活動延べ人員8,990人	
				消防機関（応援含む）4,159人、警察3,073人、自衛隊1,689人、その他69人	
		31		広報車購入、水俣消防署へ配置（更新）	
		9		4	石井消防庁長官災害地視察
	11	13		消防庁長官から防災功労者表彰受彰（水俣芦北豪雨災害の活動）	
	12	1		救助資機材等総合整備事業（Ⅱ型）により、救助工作車を購入、芦北消防署へ配置	
H16.	4	1		職員1人採用、計65人となる。	
		6		14	職員1人、消防大学校警防科へ入校（8月6日まで）
				18	林 消防庁長官災害地視察
		8		22	第25回熊本県消防ポンプ操法大会 ポンプ車の部で田浦町消防団優勝3連覇
	9	3		内閣総理大臣から防災功労者表彰受彰（水俣芦北豪雨災害の活動）	
H17.	1	1		芦北町と田浦町が合併し、芦北町となる。	
				管内構成1市2町（水俣市、芦北町、津奈木町）	
		3		25	高機能消防指令センター総合整備事業完成
		4		1	高機能消防指令センター開局
				30	職員1人退職（勸奨）、計64人となる。
	10	26		職員1人、消防大学校火災調査科へ入校（12月13日まで）	
H18.	2	28		職員1人退職（希望）、計63人となる。	
		3		8	新代表理事に水俣市長宮本勝彬氏就任
		4		1	職員1人採用、計64人となる。
				12	職員1人、救急救命九州研修所薬剤投与講習会へ入校（5月12日まで）
		5		16	職員1人、熊本県消防学校気管挿管講習へ入校（5月26日まで）
	8	21		職員1人、消防大学校（予防科第80期）入校（10月13日まで）	
H19.	2	28		水槽付消防ポンプ自動車購入（更新）芦北消防署へ配置	
		3		20	組合議会において職員の条例定数が70人となる。
				31	職員1人退職（定年）、計63人となる。
		4		1	消防長就任 一明 司
					職員2人採用、計65人となる。
					職員1人、熊本県消防学校へ派遣（平成21年3月31日まで）
				5	採用職員2人、熊本県消防学校初任科へ入校（9月27日まで）
		5		14	職員1人、熊本県消防学校気管挿管講習へ入校（5月25日まで）
				15	職員1人、救急救命九州研修所薬剤投与講習会へ入校（6月15日まで）
		8		13	職員1人、海洋研究開発機構潜水技術基礎・応用課程入所（8月24日まで）
				11	26
	12	31	職員1人退職（定年）、計64人となる。		
H20.	3	31		職員2人退職（定年1人、熊本県転出1人）、計62人となる。	

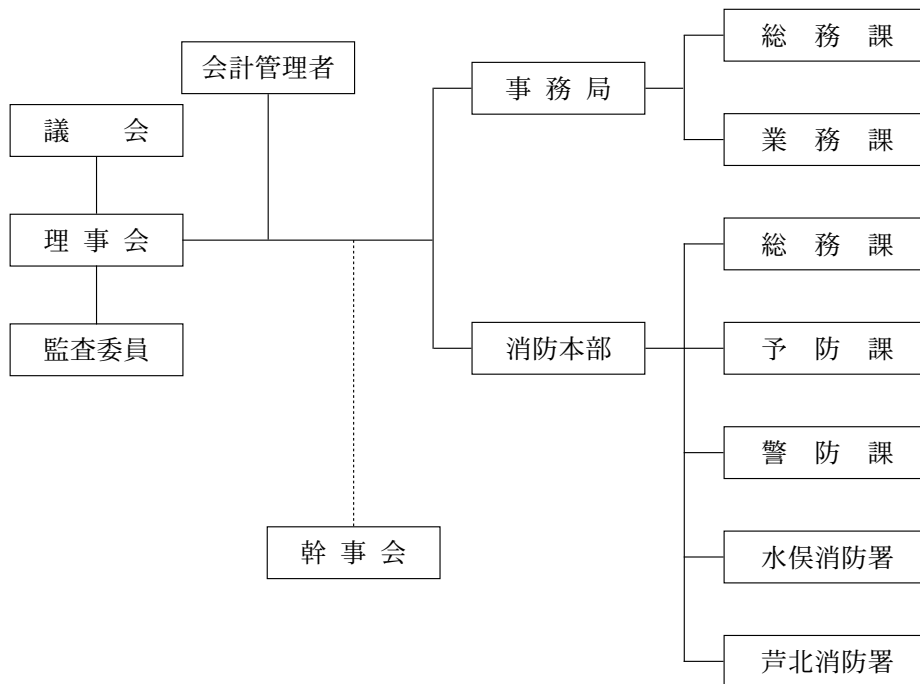
年	月	日	沿	革	
H20.	4	1	職員4人採用、計66人となる。		
		7	採用職員4人、熊本県消防学校初任科へ入校（9月26日まで）		
	5	12	職員1人、熊本県消防学校気管挿管講習へ入校（5月23日まで）		
		15	職員1人、救急救命九州研修所薬剤投与講習へ入校（6月22日まで）		
H21.	3	9	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成21年3月23日まで）		
		27	高規格救急車購入、水俣消防署へ配置（更新）		
	4	31	職員1人退職（定年）、計65人となる。		
		1	採用職員3人、計68人となる。		
	5	7	採用職員3人、熊本県消防学校初任科へ入校（9月29日まで）		
		30	職員1人退職（自己都合）、計67人となる。		
	10	5	救助工作車購入、水俣消防署へ配置（更新）		
		12	3	職員1人、九州地区警防実務研修会へ入校（12月18日まで）	
	H22.	1	18	職員1人、九州地区予防実務研修会へ入校（1月29日まで）	
			3	職員7人退職（定年4人、勸奨3人）、計60人となる。	
4		1	採用職員6人、計66人となる。		
		7	職員1人、熊本県防災消防航空隊へ派遣（平成25年3月31日まで）		
5		7	採用職員6人、熊本県消防学校初任科へ入校（9月28日まで）		
		18	職員1人退職（死亡）、計65人となる。		
9		10	職員2人、熊本県消防学校気管挿管講習へ入校（5月21日まで）		
		17	緊急地域安全対策事業（消防庁事業）により、高規格救急車購入、芦北消防署へ配置（更新）		
H23.		1	20	消防庁事業による、新発信地表示システムと位置情報システムの統合に係る実証実験、運用開始	
			9	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成22年3月23日まで）	
	12	11	第8回水俣芦北地域幼年消防大会		
		2	職員1人、九州地区警防実務研修会へ入校（平成22年12月17日まで）		
	3	17	職員1人、九州地区予防実務研修会へ入校（平成23年1月28日まで）		
		27	人員輸送車購入、水俣消防署に配置（更新）		
	4	28	資機材搬送車購入、水俣消防署に配置		
		11	公用車車庫新築（水俣消防署）		
	5	14	東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0）		
		31	緊急消防援助隊10人（5人×2班）出場（東日本大震災）（平成23年3月23日まで）		
9	1	職員1人退職（定年）、計64人となる。			
	1	消防長就任 岩田繁義			
	7	採用職員4人、計68人となる。			
5	12	7	採用職員4人、熊本県消防学校初任科へ入校（平成23年9月27日まで）		
		7	職員2人、熊本県消防学校気管挿管講習へ入校（平成23年5月25日まで）		
9	29	芦北消防署気象観測装置更新			

年	月	日	沿	革
H23.	12	28	指令5号車購入、芦北消防署に配置（更新）	
H24.	1	16	職員1人、九州地区予防実務研修会へ入校（平成24年1月27日まで）	
		17	芦北消防署屋根防水補修工事	
	3	14	指令4号車購入、水俣消防署に配置（更新）	
		22	指揮車購入、水俣消防署に配置（更新）	
		27	屈折はしご付消防ポンプ自動車購入、水俣消防署に配置（更新）	
		31	職員1人退職（定年）、計67人となる。	
	4	1	採用職員2人、計69人となる。	
		5	採用職員2人、熊本県消防学校初任科へ入校（平成24年9月25日まで）	
	5	10	職員1人、熊本県消防学校気管挿管講習へ入校（平成24年5月23日まで）	
		30	高規格救急車、芦北町の前田将氏から寄贈、水俣消防署に配置（更新）	
	7	12	九州北部豪雨災害で阿蘇市に市町村消防相互応援協定に基づき派遣（5人）（平成24年7月13日まで）	
	9	7	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成25年3月19日まで）	
	10	29	職員1人、消防大学校幹部科へ入校（平成24年12月13日まで）	
	12	3	職員1人、九州地区警防実務研修会へ入校（平成24年12月18日まで）	
H25.	2	9	消防救急デジタル無線施設整備事業（工事開始）	
		28	職員1人退職（自己都合）、計68人となる。	
	3	29	消防4号車（消防ポンプ自動車）購入、水俣消防署に配置（更新）	
		31	職員3人退職（定年）、計65人となる。	
	4	1	採用職員4人、計69人となる。	
		8	採用職員4人、熊本県消防学校初任科へ入校（平成25年9月6日まで）	
	6	3	職員1人、熊本県消防学校気管挿管講習へ入校（平成25年6月14日まで）	
	8	29	水俣芦北広域行政組合庁舎建設安全祈願祭	
	9	4	職員1人、消防大学校幹部科へ入校（平成25年10月23日まで）	
	10	26	第33回「全国海づくり大会～くまもと～」開催。天皇、皇后両陛下来水（10月27日まで）	
	11	11	熊本県下大規模災害対応訓練（11月12日まで）	
		13	第9回水俣芦北地域幼年消防大会	
	12	9	職員1人、九州地区警防実務研修会へ入校（平成25年12月20日まで）	
H26.	1	20	職員1人、九州地区予防実務研修会へ入校（平成26年1月31日まで）	
	2	26	新代表理事に水俣市長西田弘志氏就任	
	3	4	職員1人、消防大学校新任教官科へ入校（平成26年3月14日まで）	
		26	消防救急デジタル無線施設整備事業（竣工検査）	
	4	1	採用職員1人、計70人となる。	
			職員1人、熊本県消防学校教官へ派遣（平成28年3月31日まで）	
		8	採用職員1人、熊本県消防学校初任科へ入校（平成26年9月19日まで）	
	6	2	職員1人、熊本県消防学校気管挿管講習へ入校（平成26年6月13日まで）	
		9	職員1人、消防大学校幹部科へ入校（平成26年7月24日まで）	

年	月	日	沿	革	
H26.	8	11	水俣芦北広域行政事務組合消防本部新庁舎	運用開始 (住所 水俣市ひばりヶ丘3番12号)	
		25	職員1人、消防大学校救助科へ入校	(平成26年10月25日まで)	
	9	1	水俣芦北広域行政事務組合消防本部新庁舎	落成式	
	10	29	職員1人、救急救命士東京研修所へ入校	(平成27年3月9日まで)	
	12	15	新庁舎再生可能エネルギー事業(太陽光発電)	完了	
H27.	2	10	芦北消防署建設検討委員会発足		
		23	水俣芦北広域行政事務組合消防本部旧庁舎	解体工事完了	
	3	31	職員4人退職(定年3人、自己都合1人)	計66人となる。	
	4	1	消防長就任	松村幹雄 採用職員2人、計68人となる。 非常勤職員4人採用(任期1年)	
		3	職員1人、救急救命士九州研修所へ入校	(平成27年9月30日まで)	
	6	7	採用職員2人、熊本県消防学校初任科へ入校	(平成27年9月4日まで)	
		23	職員1人、消防大学校危険物科に入校	(平成27年7月23日まで)	
	11	11	緊急消防援助隊全国合同訓練(1隊5人)出向	(平成27年11月16日まで)	
	12	7	職員1人、九州地区警防実務研修会へ入校	(平成27年12月18日まで)	
	H28.	1	18	職員1人、九州地区予防実務研修会へ入校	(平成28年1月29日まで)
			2	15	職員1人、九州地区救急実務研修会へ入校
		2	23	水槽付消防ポンプ自動車購入、水俣消防署に配置	(更新)
3			31	職員2人退職(定年)、計66人となる。	
4		1	採用職員4人、計70人となる。 非常勤職員6人採用(任期1年)		
		7	採用職員4人、熊本県消防学校初任科へ入校	(平成28年9月16日まで)	
14			熊本地震(マグニチュード6.5)	熊本県消防広域応援に基づく災害派遣(2隊5人×2回)出場(4月16日まで)	
		16		熊本地震(マグニチュード7.0)	
25		職員1人、救急救命九州研修所指導救命士養成研修へ入校	(平成28年6月9日まで)		
5		2	熊本県消防広域応援に基づく災害派遣(1隊3人)出場	(4月30日まで)	
	2	熊本県消防広域応援に基づく災害派遣(1隊3人)出場	(5月3日まで)		
6	30	職員1人退職(自己都合)	計69人となる。		
8	3	芦北消防署建設基本構想検討委員会発足			
9	2	職員1人、救急救命九州研修所へ入校	(平成29年3月14日まで)		
12	5	職員1人、九州地区警防実務研修会へ入校	(平成28年12月16日まで)		
H29.	1	16	職員1人、九州地区予防実務研修会へ入校	(平成29年1月27日まで)	
		2	13	職員1人、九州地区救急実務研修会へ入校	(平成29年2月17日まで)
	3	6	消防ポンプ自動車(CD-1型)購入、芦北消防署へ配置	(更新)	
		31	職員3人退職(定年3人)	計66人となる。	
4	1	採用職員4人、計70人となる。			

年	月	日	沿	革	
H29.	4	1	非常勤職員5人採用（任期1年）		
		11	職員1人、熊本県防災消防航空隊へ派遣（平成32年3月31日まで）		
	5	15	採用職員4人、熊本県消防学校初任科へ入校（平成29年9月22日まで）		
		15	職員1人、救急救命九州研修所指導救命士養成研修へ入校（平成29年6月23日まで）		
	7	5	九州北部豪雨災害で、大分県日田市に緊急消防援助隊（5人×2班）派遣（平成29年7月11日まで）		
		31	広報車購入、水俣消防署に配置（更新）		
			資材搬送車（軽ワゴン）購入、水俣消防署に配置（更新）		
	9	4	職員1人、救急救命九州研修所へ入校（平成30年3月12日まで）		
	10	6	職員定数条例改正、職員定数87人となる。		
	12	11	職員1人、九州地区警防実務研修会へ入校（平成29年12月22日まで）		
	H30.	1	15	職員1人、九州地区予防実務研修会へ入校（平成30年1月26日まで）	
			24	高規格救急車購入、芦北消防署へ配置（更新）	
2		5	職員1人、九州地区救急実務研修会へ入校（平成30年2月9日まで）		
3		31	職員1人退職（自己都合）計69人となる。		
4		1	採用職員6人、計75人となる。		
		10	非常勤職員4人採用（任期1年）		
		採用職員6人、熊本県消防学校初任科へ入校（平成30年9月21日まで）			

### (3) 組合の組織



#### ア 組合特別職

役職名	氏名	備考
代表理事	高岡利治	水俣市長
副代表理事	竹崎一成	芦北町長
理事	山田豊隆	津奈木町長

#### イ 監査機関

役職名	氏名	備考
監査委員	宮尾秀行	芦北町議会議長
”	福山勲	水俣市監査委員

ウ 組合議会

役 職 名	氏 名	備 考
議 長	福 田 齊	水 俣 市 議 会 議 長
副 議 長	川 野 雄 一	津 奈 木 町 議 会 議 長
議 員	野 中 重 男	水 俣 市 議 会 議 員
"	藤 本 壽 子	"
"	田 口 憲 雄	"
"	谷 口 明 弘	"
"	田 中 睦	"
"	塩 崎 達 朗	"
"	小 路 貴 紀	"
"	宮 尾 秀 行	芦 北 町 議 会 議 長
"	草 野 安 道	芦 北 町 議 会 議 員
"	元 山 秀 志	"
"	白 坂 康 浩	"
"	宮 内 道 則	"
"	林 田 耀 宏	"
"	柳 迫 好 則	津 奈 木 町 議 会 副 議 長

(4) 歴代消防長

歴 代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	
水俣市消防本部	初 代	市 川 末 雄	昭 和 27年10月 1日	昭 和 38年 5月31日
	第二代事務取扱	助 役 渡 辺 勝 一	" 38年 6月 1日	" 40年 1月31日
	第 三 代	小 島 伊 之 吉	" 40年 2月 1日	" 45年 9月30日
	第 四 代	岩 崎 良 一	" 45年10月 1日	" 52年 3月31日
水俣芦北消防組合	初 代	岩 崎 良 一	" 52年 4月 1日	" 54年 3月 8日
	第 二 代	小 崎 厚	" 54年 3月 9日	" 54年12月10日
	職務代理者	山 口 栄	" 54年12月11日	" 54年12月19日
	第 三 代	福 田 堅	" 54年12月20日	" 57年 2月21日
	職務代理者	梅 下 優	" 57年 2月22日	" 57年10月 8日
	第 四 代	山 田 真 逸	" 57年10月 9日	" 59年10月15日
	職務代理者	梅 下 優	" 59年10月16日	" 59年12月17日
	第 五 代	梅 下 優	" 59年12月18日	" 60年12月25日
	職務代理者	久 木 田 實 喜	" 60年12月26日	" 61年 9月30日
	第 六 代	久 木 田 實 喜	" 61年10月 1日	平 成 6年 3月31日
第 七 代	小 形 熊 義	平 成 6年 4月 1日	" 7年 3月31日	
第 八 代	前 田 賢 治	" 7年 4月 1日	" 7年 9月30日	



歴 代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	
水 俣 芦 北 広 域	初 代	前 田 賢 治	平成 7年10月 1日	平成 10年 3月31日
	第 二 代	高 田 久 壽	" 10年 4月 1日	" 13年 3月31日
	第 三 代	古 川 廣 光	" 13年 4月 1日	" 14年 3月31日
	第 四 代	瀧 上 重 徳	" 14年 4月 1日	" 15年 3月31日
	第 五 代	坂 本 常 人	" 15年 4月 1日	" 19年 3月31日
	第 六 代	一 明 司	" 19年 4月 1日	" 23年 3月31日
	第 七 代	岩 田 繁 義	" 23年 4月 1日	" 27年 3月31日
	第 八 代	松 村 幹 雄	" 27年 4月 1日	現在に至る

### (5) 組合構成市町人口等調

市町	区分	面 積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)	世帯数 (世帯)
水 俣 市		163.3	24,858	11,750
芦 北 町		234.0	17,597	7,309
津 奈 木 町		34.1	4,647	1,935
合 計		431.4	47,102	20,994